

ヒルフェ通信(8月号)

❀ そっと寄り添いやさしくサポート ❀

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



◆大島における成年後見セミナー＆無料相談会報告(Part2)

今回訪問した関係機関は、町役場では町長室で町長との懇談、この企画の窓口となってくださった政策推進課、福祉関係の窓口である福祉けんこう課へのご挨拶、またちょうどおいでになった副町長にもご挨拶ができました。その後、役場の近くにある社会福祉協議会にもうかがい、事務局長と懇談致しました。

初日のセミナーは民生児童委員(以下民生委員という)の方2名と役場関係3名の計5名ではありましたが、民生委員のうちお一人は協議会の会長で、セミナーの前後に、理事長と情報交換をされたり、また役場の方も成年後見の申立て関係の手続き上の不明点等について確認をされたり等、大変有意義な場となりました。

2日目のセミナーでは、一般の方2名を含め、民生委員、町役場の方、社協の事務局長、東京都大島支庁の福祉ご担当者に加え、当日ご案内をお持ちしてご挨拶にうかがった金融機関の方も参加され、計15名となりました。



セミナー講師は両日とも齊藤相談役が、制度の説明に加え、時折ご自身の実務経験のお話を交えながらわかりやすく説明され、皆さん、大変熱心に耳を傾けていらっしゃいました。これまで他の士業団体等も来訪しておられますが、相談会が主で、町の職員が勉強会に出席したのは初めてであり、内容も初めて聞くことが多かった、などのお話をいただきました。2日目も、セミナー前後にも名刺交換、情報交換が活発に行われました。

セミナー後は東京都の大島支庁に、今回のご報告を兼ねてご挨拶にうかがいました。



関係諸機関との談話やセミナー後のご挨拶でも、理事長は常に、「今回の訪問はヒルフェという団体に成年後見を依頼してくださいということではなく、成年後見制度利用促進基本計画の中でも地域連携ネットワークが重要とされているが、離島で人的資源が限られている中、難しい点が多々あると思われる。ヒルフェとしても情報提供や、研修など、協力できる部分があるので、ネット環境なども活用し、工夫をもって継続的に協働していくきっかけとしたい。」ということをお話されました。

関係諸機関では、当初はどっこも硬い表情でお迎えいただくのですが、理事長のお話で、だんだん笑顔になっていかれるのがとても印象的でした。

今後は、この訪問をきっかけとして「工夫を持って継続的に協働していく」ことを必ず実践して参りたいと思います。

(広報担当 高山久美子)



大島社会福祉協議会にて



東京都大島支庁にて

